

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3070102722
法人名	株式会社リバソン
事業所名	グループホームなぎのやど
所在地	和歌山県和歌山市下三毛勝宝山870-2 (電話) 073-465-3363

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	平成21年4月7日	評価確定日	平成21年4月28日

## 【情報提供票より】(21年3月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成15年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤17人, 非常勤6人, 常勤換算	11.7人

## (2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建て	1 階 ~	1 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (200,000円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 800円			

## (4)利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	8 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.95 歳	最低	68 歳	最高	100 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	辻岡医院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

展望に恵まれた自然豊かな場所に立地し、広いウッドデッキの庭が特徴で、殆どどの部屋から景色を眺めることができる。利用者は体操を始めカラオケ、ゲームなど多彩なレクリエーションを楽しんでいる。また、持てる力を活かし家事などの役割を担っていて、それが自然と認知症の進行を緩和しているようである。職員は接遇や勤務態度、利用者のケア等について自己評価を行い、上司の評価を受けそれぞれの目標を立て資質の向上に努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の指摘事項については、市担当者との連携や利用者に対するプライバシーの確保について改善への努力がなされている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は職員が全体で評価項目ごとに取り組みが出来ているか・出来ていないかについて自己評価し、管理者がそれを取りまとめた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、ホームの現況や事故・苦情等の件数・内容等を報告し、防災訓練の実施、小学校運動会への参加、感染症予防等を議題とし、その他の課題を含め委員に意見を求めサービス向上の参考としている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族から苦情等が出された場合は苦情報告書に記載し、調査の上改善に努め運営に反映させている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の自治会の清掃作業に参加したり、地域の小学校の児童が訪れて交流している。また小学校の運動会や地域の文化祭、敬老会にも招待され参加している。なおホームで行う夏祭りに地域の人々が訪れ交流している。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員を含め利用者一人ひとりが家族となり、家庭的で安らぎのある環境のもと、趣味や特技を通じて自立し、明るく楽しい日常生活を送っていただくことを理念としている。	○	理念に地域密着型サービスとしての役割を付け加えることが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすいところに掲げ、管理者・職員は理念を共有しており、日々の方針として業務に取り組んでいる。現在地域との交流を含め、分かりやすく覚えやすい文章にしようと検討している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会の清掃作業に参加したり、地元の小学生がプレゼントをもって訪れてくれる等交流している。また小学校の運動会や地域の文化祭、敬老会にも招待され参加している。なおホームでの夏祭りに地域の人々が訪れる等、交流している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は職員が全体で評価項目ごとに取り組みが出来ているか・出来ていないかについて自己評価し、管理者がそれをとりまとめた。前回の外部評価の指摘事項については、市担当者との連携やプライバシーの確保について改善への努力がなされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度運営推進会議を開催し、ホームの現況や事故・苦情の件数・内容等を報告している。また、防災訓練の実施、小学校運動会への参加、感染症予防等を議題とし、その他の課題を含めて委員に意見を求めサービス向上の参考としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当課の職員には、事業所の加算や他府県からの入居の手続き、指定更新の手続き等について質疑・相談を行い、ともに運営やサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族には「なぎのやど通信」により毎月健康状態や暮らしぶりを写真をつけて詳しく伝えている。また面会時にも報告している。なお利用者の健康状況に急変があったときはその都度電話で連絡している。預かり金については、収支のコピーとレシートを家族に渡し、印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から苦情等が出された場合は苦情報告書に記載し、調査の上改善に努め運営に反映させている。なお家族会は年一回開催している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はユニット間で行われているが、利用者への影響を考慮して少なくするようにしている。また離職して職員が入れ替わる場合は、引継ぎなどを十分に行い、利用者へ声かけをしてコミュニケーションをとるようにし、徐々に馴染んでもらうよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修では県グループホーム連絡会の研修に参加し、認知症の理解とケア、消防法の改正、レクリエーションの方法等の研修を受け、他の職員にも報告している。職員が希望し業務の都合がつけば研修会に参加することが出来る。新人職員には、先ず1日の業務の流れを経験してもらい先輩職員がついて夜勤を行い、利用者毎の心身の状況やケアの方針等を把握し、ほぼ3か月の研修期間を経て業務を身につけるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡会に参加し、他のホームの見学や実習を行っている。参加する職員にはよい刺激となり、よいアイデアも生まれサービスの向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族には十分納得できるまで見学やホームで過ごしてもらってよいと話している。入居後はホームに慣れるために馴染みの食器などを持ってきたり、帰るといえば職員がついて近辺を歩いたり、また職員が夜でも付き添い徐々に職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染んでもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に家事や季節の行事などを手伝ってもらい、利用者の経験から調理の方法等を教えてもらう等、互いに支えあい共に生活を楽しんでいる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや暮らしの希望を自分で話してくれる人にはそれに沿えるよう支援している。思いや希望の把握が困難な場合は、日頃よく観察し、様子や動き等から推し測り対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族の意向を踏まえ、職員間で月1回のミーティングを開催し、日ごろの利用者の生活能力に関する気付きや家族との面談等で出された意見等を取り入れ、介護計画を作成している。家族には来訪時に説明して同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は長期は6か月、短期は3か月に一度見直すとともに、心身の状況等について変化が生じた時はその都度見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をとっており、看護師と24時間連絡可能で利用者が重度化した場合や見取りの必要が生じた場合の対応指針等を定めている。なお月に1度看護師が訪問し健康管理が行われている。またドライブによる遠出の外出を支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の多くが希望するかかりつけ医に月2回往診を受けている。また必要な場合は適切な医療機関で診察が受けられるように紹介してもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時に重要事項説明書で、医療連携体制により看護師と24時間連携し、重度化した場合や終末期の見取りに関する指針について説明しており、重度化した場合はかかりつけ医と家族・職員が話し合い方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを傷つけるような言葉かけがあったので、会議の席でも職員に注意するとともに、「個人評価記録」においてそのような言動がないか等年1度自己評価し、上司の面接・評価を受けて自分の目標とし利用者に接するようにしている。また記録などの個人情報は漏れないように注意し職員室に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の決まりを優先させず、利用者のペースや希望に沿って外出を支援したり、自分の居室で過ごしてもらったりしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は得意なことや力に応じて食事の準備や後片づけ、盛り付けなどを職員と一緒にしている。またホーム内のウッドデッキで食事したり、色々の外食を楽しむこともある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は大体隔日に入浴しており、特定の人が入浴する先に入るという苦情があったので日々順番を変えて入浴してもらっている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活で利用者それぞれの力に応じて、掃除、料理、洗濯物干しやたたみなどの家事、プランターへの花植えや水やりなどの役割をしてもらっている。またカラオケやゲームなどのレクリエーションや体操、季節の行事(ひな祭り、花見、夏祭り、クリスマス等)を行い、利用者が楽しく暮らしていけるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に利用者の希望に応じて近くのスーパーへ買い物に行ったり、近くの公園などに散歩に出かけている。またホームの前に置かれた椅子に座り自然や外気に触れることもできる。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には日中鍵をかけていない。また居室にも鍵をかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年一回消防署の協力を得て消火・避難訓練を実施している。また利用者の避難については、地域の役員が参加する運営推進会議で防災訓練を議題とし、地域の人々の協力が得られるよう働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は野菜を取り入れ昼食を肉類にすれば夕食は魚類にするなど栄養バランスを考慮したメニューを作っている。また食事の摂取量や水分摂取量も記録しており、その人にとって適量であるかによって調整している。なお定期的に利用者の体重を計り急な体重の増減に注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間の壁面に色々の行事の写真を貼ったり、小学生から送られた花の貼り絵を掲げたりしている。部屋の明るさも適当と感じられた。また共同室から眺められる山や遠景の展望がよく、居ながらにして満開の桜など季節感を感じることができる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は家具等を本人・家族が相談して持ち込み、壁には塗り絵や小学生が書いた絵などを貼ったり、またぬいぐるみや手芸品を置いたりして、居心地よく過ごせるよう配慮されている。		